

そらこめ通信

No.70 2016年5月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

4月15日から始まった水稲の種まきは、4月24日までに全ての作業が終わりました。水稲用のハウスは今年は全部で11棟。この他に、ダリアに使うハウスが2棟あります。春の作業として、種まきが終わるとすぐに畦畔の修繕に取り掛かり、続いて肥料蒔きと田起こし、その後、代かきを経て、田植え作業になります。田植えの開始は、ハウスにおける苗の成長度合いにもよりますが、今のところ5月19日頃を予定しています。田植え終了後、水稲の育苗に使ったハウスのいくつかは、ダリアやコスモスなど花卉の栽培に転用する予定でいます。花卉は、収穫期を少しずつ遅らせる方が作業効率上都合が良かったため、水稲から転用するハウスについては、苗の移植時期についてハウスごとに間隔を空けながら進めます。今年の春は比較的暖かいことから、作業は概ね順調。このまま何事もなく進んでほしいものです。

種まきが始まるころ、熊本地方を震源とする大きな地震がありました。震度7が2回、その他にも大きな余震が連続しているとのこと。直下型のため、家屋などに甚大な被害が出ており、犠牲者の数も相当数に上るとの報道がありました。犠牲になられた方の中には学生さんも多数含まれるとのこと。同年代の子供を持つ親として、ご家族の心中察するに余りあります。此度の震災で不幸にもお亡くなりになられた方々に対し、哀悼の誠を捧げると共に、被災され避難所生活を余儀なくされている方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。被災された地域の早急な復旧、復興を祈念してやみません。



種もみを小分けする作業(4月2日)



育苗ハウスの設置作業(4月2日)



足場設置のため水糸を張る(4月4日)



ハウスの土を砕土して均す(4月4日)



播種のためハウスの中央にアルミ製の足場を設置する作業(4月5日)



ダリアのハウスの畝作り(4月6日)



ダリアの苗を植えた直後のハウスのようす



播種に使う種もみの水切り(4月13日)



機械による育苗ポット作り(4月15日)



育苗ポットに種もみが入ったようす



ポットに保温シートをまく作業(4月15日)



リフトでポットを運搬します(4月15日)



機械によるポットの設置作業(4月15日)



ハウスの奥までポットを運ぶ機械(4月20日)



育苗ポットを冷気から守るため柵を設置 「ななつぼし」が発芽しました(4月22日)



保温シートで保護された苗(4月25日)

建設業もそうですが、農業も機械化が進んでいます。農業従事者の減少が背景にあるのかも知れませんが、その進歩の度合いは目をみはるばかり。例えば、この種まき。機械に空のポットを装着すると、自動で床土や種もみ、覆土が入ってポットが完成。ハウスにポットを並べるのも機械、そこまでポットを運ぶのも機械です。まるで、人が機械に使われているかのよう。機械を止めぬよう周りで人がせわしく動く...そんな時代です。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
ブログ「生産日誌」更新中です